

マチを彩る花 2015



交流施設ひだまりの利用者やスタッフが集まり、マリーゴールドをひだまりの前に並べました。



大通自治会女性部では、平成20年から毎年大通りのカタクリ灯に花を植え、商店街を彩っています。



FRV（フラワーロードボランティア）の会員が国道沿いにペチュニアを飾り、ドライバーの心を和ませています。



元気の会ではエココテージ前に4つの花壇を作り、色とりどりの花で和寒町を訪れる方の目を楽しませています。

これからの家庭教育

～インターネット トラブル～

現代の子どもたちは、インターネットを使い、あらゆる情報を得ることができる時代に生まれました。特にスマートフォンはどこでもインターネットができる小さなコンピュータで、さらに電話機能もついている現代人の必須アイテムです。便利な機能を使い、今まではできなかった仕事の仕方、人との交流、思い出の作り方、勉強の方法、遊び方ができる素晴らしいものです。

しかし、このとても便利な道具は今までになかった重大なトラブルを招く可能性も秘めています。

「LINE」

・Twitter（ツイッター）やFacebook（フェイスブック）など誰もが見ることができるSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）と異なり、LINE（ライン）は決まった人だけのメッセージのやり取りができるもの（アプリ）です。口に出すよりも、気軽に書き込めることから過激になりやすく、悪口やいじめが横行しやすくなります。実際に被害にあったお子さんが最悪の事態に陥る痛ましい事案もあります。

「ゲーム友達」

・最近では表立って出会いを目的にしたサイト（ホームページ）ではなく、ゲームのサイトで一緒にゲームをしている仲間と出会い、連絡先を交換し実際に会うことで子どもたちが被害に遭うといったケースも増えています。

「なりすまし」

・ある人になりすまし、その友人に連絡を取るために、パスワードが不正な方法で盗まれることがあります。「オレオレ詐欺」と同じように、メール等で連絡を受けた人は友人だと思い込み、金券をだまし取られる等、様々な被害を受けます。



スマートフォンを持つ子どもは危険な世界と隣り合わせで生活しています。**情報化社会を渡り歩くために重要なのは、触れさせないことではなく、良い点、悪い点をしっかりと理解し上手に使いこなすことです。**そのためには我々大人も、しっかりとインターネットの勉強をしていくことが大切です。